

馬原アカリ医学研究所設立趣旨

目 的

馬原医院院長馬原文彦は1984年高熱と紅斑を主徴とする患者を診察し、注意深い観察と徳島大学や国立予防研究所などの専門家との共同研究により、当時わが国には存在しないと考えられていた紅斑熱群リケッチアによる感染症の存在を明らかにした。1987年日本感染症学会総会にて日本紅斑熱と命名した。この病気は1999年4月施行の感染症新法により、第4類届け出感染症に指定された。

その後の研究により、本疾患は徳島のみならず、西日本一帯さらには関東、青森県まで、年間150～200例の患者発生が報告され、増加傾向にある。また、韓国など近隣外国からの報告もある。

しかるに、本疾患の確定診断法は健康保険上認められておらず、一般検査センターでは行われていない。更に治療法についても熱性疾患に汎用されている抗菌剤が無効なこともあり、実地医家は治療に苦慮することも多く、県内外から当院へ直接個人的に相談されることも多い現状にある。

また、病原体を媒介するマダニについても研究が必要である。

これらの現状を踏まえて、本疾患研究の第一線にある当院で、「医療法人新心会 馬原アカリ医学研究所 Mahara Institute of Medical Acarology」を設立し、日本紅斑熱およびダニ媒介性疾患について以下の事業を行う。

事業内容

1. 臨床像、診断法、治療法などについて臨床的研究を行い、研究発表を行う。
2. 本疾患および関連疾患に関する医師の診断、治療などの診療支援を行う。
3. 寄生性ダニ類とダニ媒介性疾患に関する調査研究と情報・資料収集。
4. ダニ類標本と資料の展示公開。
5. 我が国にリケッチア研究史の研究および資料展示公開。
6. その他の関連事項。

アカリとはダニの学名です。

2012年4月1日